

語

年前の一九六四年十月十日、東

凡

京五輪の開会式

が東京都・国立

競技場で行われ

た。アジアで初めての五輪が残した多くの財産の中にスポーツ少年団がある▼五輪開催を二年後に控えた六二年に日本体育協会は、地域社会とつながりを持ちながら、青少年にスポーツの喜びを知ってもらうこと、同少年団を設立。五輪人気もあつて全国各地に広がつた▼いま二万五千団、団員九十二万人、登録指導者十九万人を数える。それ以前、スポーツと出合うのは中学から高校に入つてから、が一般的だった。少年団活動によつて、子供たちが早くからスポーツの楽しさ、ルールを守ることの大切さなどを知る機会が増えた▼その少年団に、新しい役割が期待されている。総合型地域スポーツクラブ普及との連携だ。

地域クラブをゼロからつくるよりは、四十年の歴史のある少年団をベースにしようという考えだ▼そのためには女性の指導者や団員を必要とする。サッカーや野球以外にも、いろいろな競技をもっと取り入れることも課題となる▼企業スポーツが衰退し、時代に合ったスポーツ環境の組み立てが渴望されている。

温故知新というが、先人の財産を再検証するのも無駄ではない。